

地域公共再生可能エネルギー活用事業認定第15号 [千代地区]

千代地区（千代小学校・千栄小学校）太陽光発電再生可能エネルギー活用事業について

1 事業名 千代地区（千代小学校・千栄小学校）太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

2 事業場所等

(1) エネルギー種別 太陽光を活用して得られる電気

(2) 事業実施箇所

飯田市千代3166番地2（飯田市立千代小学校）及び飯田市千栄1530番地1（飯田市立千栄小学校）

3 事業主体等

(1) 事業主体 千代地区まちづくり委員会（会長 関口 俊博）

(2) 協力事業者 株式会社リックス（代表取締役 熊谷 弘）

4 事業内容

千代地区まちづくり委員会（以下単に「委員会」といいます。）は、株式会社リックス（以下単に「リックス」といいます。）が千代小学校及び千栄小学校の施設の屋根に太陽光による発電設備を設置し、固定価格買取制度を利用した全量売電を20年間行って得た収益の一部である地域貢献寄付金を年一回受領して以下の活動に活用します。

(1) パンフレットの作成等による、よこね田んぼ、万古溪谷、野池親水公園等、地区の豊かな環境資源の情報発信の強化

(2) 千代地区の特産物や農産物の消費拡大を図り、SDGsを考慮した地産地消、環境配慮型消費等を推進するための千代地区内外でのイベント等の開催

(3) 地区の将来を担う子どもたちの教育環境の充実

加えて、この事業を通じて、小学校を太陽光発電事業による地区住民の環境側面でのシンボルでもある旨認識を新たにしてもらうことで、地域住民の環境意識の向上を図ります。

5 太陽光発電設備の出力及び年間想定発電量

最大出力 約55.48kw（千代小学校 27.74kw、千栄小学校 27.74kw） 年間想定発電量 約53,302kwh/年

6 地域の合意形成と飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会での審査経過

(1) 平成27年9月から平成28年2月まで 委員会において、千代地区基本構想・計画（第3次）の中間見直しに当たり、再生可能エネルギーの活用事業についての検討を実施。

(2) 令和元年8月19日 リックスから委員会に千代地区内の公共施設の屋根を利用した太陽光発電事業の実施について提案がなされ、本事業の検討を開始。

(3) 令和元年10月12日 本事業施工予定箇所の現地調査に入ることについて、リックスから委員会へ提案があり、委員会は了承した。

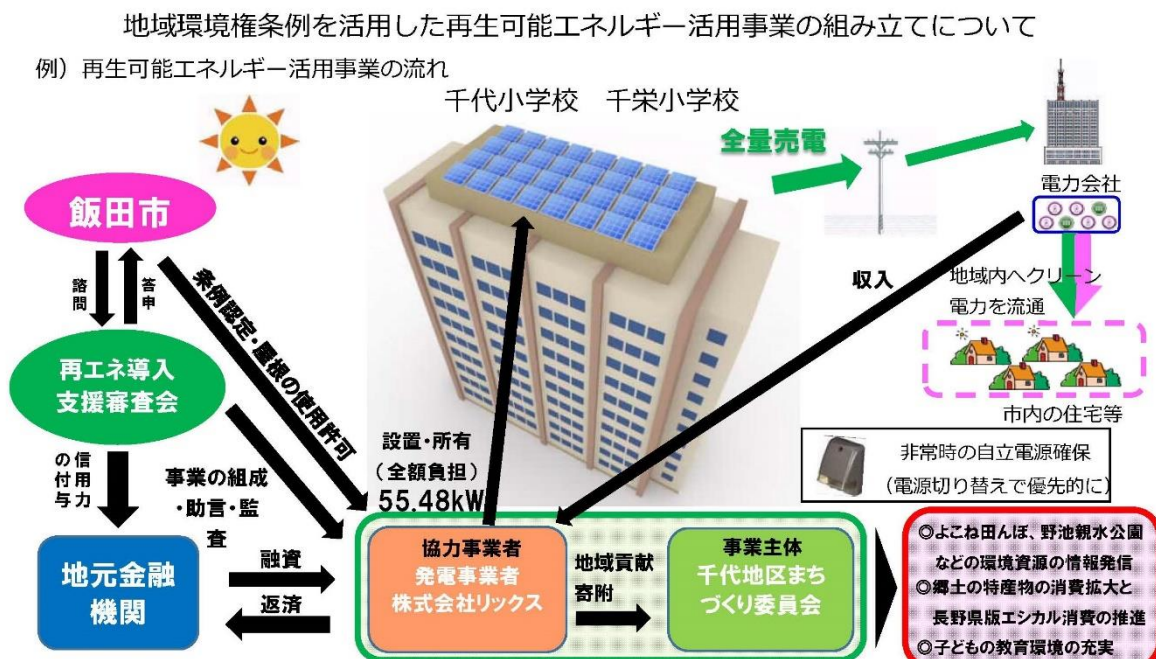
(4) 令和2年1月17日 現地調査を踏まえた最終提案がリックスから委員会になされ、委員会は本事業を実施し

ていくことを決定した。

(5) 令和2年2月14日 委員会及びリックスが飯田市（飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会）に対し認定を受けたい旨の申出に係る事前相談を行った。

(6) 令和2年3月18日 委員会及びリックスが飯田市に対し認定を受けたい旨の申出を行った。これに関し飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会は、地域公共再生可能エネルギー活用事業として、認定すべき旨答申した。

7 事業の概要図



8 飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会での事業評価

- (1) 本件事業は、地域に賦存する再生可能エネルギー資源を地域住民が自ら活用することを通じて、電力のグリーン化に寄与するとともに、本件事業から発生する地域貢献寄附金をもとにまちづくり委員会が計画する地域振興策が進められることにより、地域コミュニティの活性化及び地域の環境価値の向上に繋がり、飯田市が行う「いいだ未来デザイン2028」に寄与するものといえます。
- (2) 本件事業の事業計画及び資金運用計画は、過去に飯田下伊那地域の7町村23施設（小中学校、公共施設等）の太陽光発電事業を実施してきた実績を持つリックスのノウハウを基礎に作成されたものであり、安定的に運用される可能性が十分に高いものといえます。
- (3) 「第3次千代地区基本構想・計画」により同地区が取り組む地域課題である、環境資源の情報発信の強化、地産地消、環境配慮型消費等を推進するための地区内外でのイベント等の開催及び子どもたちの教育環境の充実について、まちづくり委員会とリックスが連携して取り組むことから、地区と事業者との協働による継続性のある公共サービスとして認めることができます。
- (4) 木炭産業が盛んであった地域の歴史、エネルギーの変遷、木質バイオマスの発電及び熱利用などを環境教育の中身に盛り込み、知識を地域内に継承していく仕組みを構築できること、また、千代小学校及び千栄小学校での、リックスによる発電の仕組みの学習の機会を積極的に設けることで、より素晴らしい事業になります。